

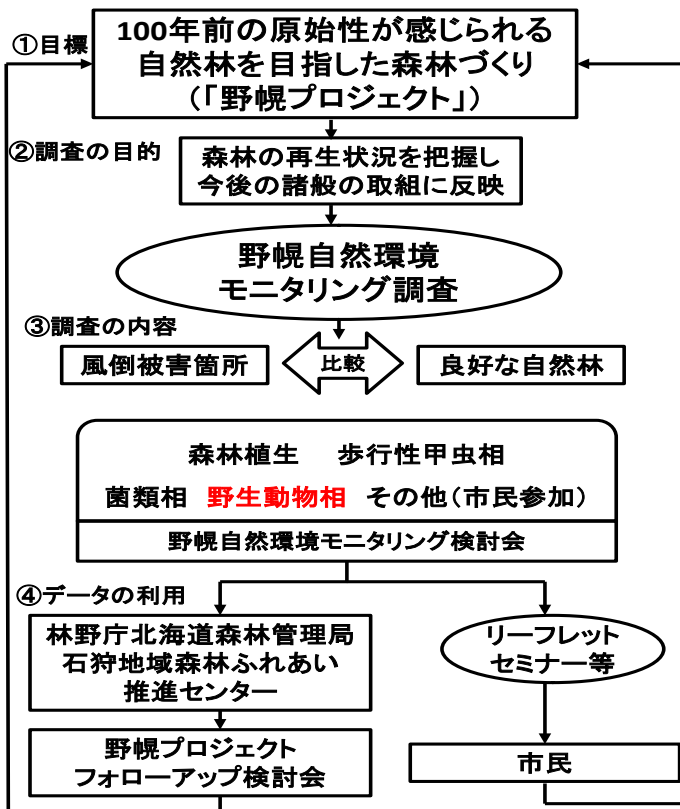
無人の眼が闇を撮す

～野幌森林公園自動撮影装置による野生生物モニタリング～

石狩地域森林ふれあい推進センター 自然再生指導官 足立康成

モニタリングの背景と目的

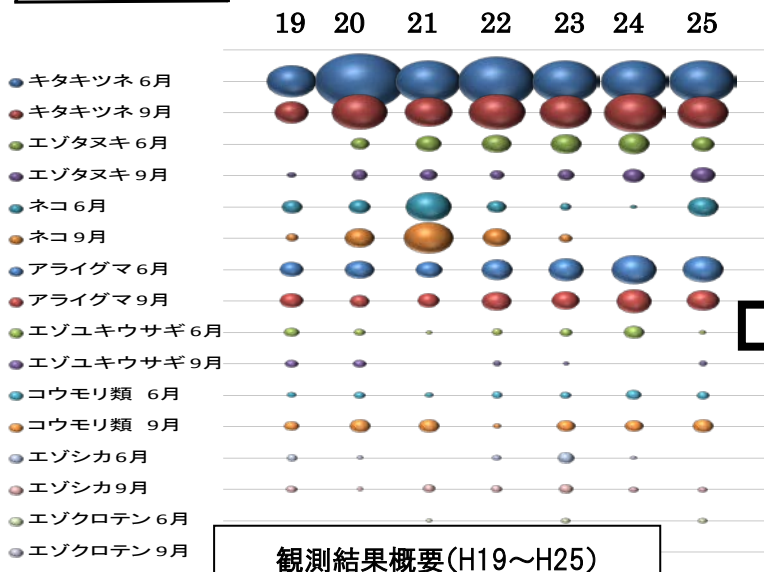
平成 16 年に発生した台風 18 号の被害を受けた野幌森林公園について「野幌森林再生プロジェクト」を策定し、下記のとおりモニタリング調査方針の考え方を示した。



使用している自動撮影装置



撮影されたエゾユキウサギ



- ・生息する哺乳類相に目立つ変化なし
- ・エゾシカの撮影頻度は高くない
- ・アライグマの撮影頻度は増加傾向かつ広範囲で確認

Memo